

中之町幼稚園教育目標

げんきな子

かんがえる子

なかよくする子

がんばる子



一人ひとりの特性

園長 大橋 美都子

新生活が始まって2か月、園庭では色とりどりのカラー帽子の幼児たちが出会ったり、保育室に他学年の幼児が遊びに来て中之町音頭を教えてくれたり、宇宙組が1階の廊下でおみこしを担いでいるところを見せてくれたり、と園内で微笑ましい関わりが見られます。雨の日が多かったり、蒸し暑い日が続いたりして梅雨が近いことを感じるこの頃です。

さて、初めて集団生活に入ったお子さんの保護者のみなさんは、我が子が園でどのように過ごしているか気になることと思います。よく「みんなと一緒に行動できているのか」「友達と違うことをしていないか」と気になさる方がいらっしゃいます。幼児は、一人ひとり個性があり、当然のことながら家族や家庭環境、これまでの生活経験が違います。さらに、人や事物への関わり方や環境の認識、環境からの刺激の受け止め方も違います。幼稚園では一人ひとりの良さや可能性を大切にすること、一人一人の思いや願い、特性を理解し、その幼児の発達の課題に応じて指導することを重視しています。登山に例えるとすると、登山ルートは幼児一人一人違います。Aコースを休憩なく進む幼児もいれば、なだらかなBコースをのんびりとお休みしながら登る幼児もいます。中にはCコースで、咲いている草花や景色にゆっくり関わりながら登る幼児もいます。目的に向かって保育者とともに様々なコースで様々な登り方をしていくのです。今、何合目にいるのかもバラバラです。決して学級全員をロープウェイに一度に乗せて、最短距離を一気に頂上に向かわせることはしないのです。一人ひとりの特性が違うこと、一人ひとり目的に向かうルートや方法が違うことを認識いただき、幼稚園の教育にご理解いただきたいと思います。

中之町まつりの準備が進み、園内にその雰囲気が出てきました。楽しいおまつりになることを期待します。



ジャガイモがたくさん収穫できました！



おみこしわっしょい!!



NTと親しんでいます  
Let's dance!